

世界の高校生の「物理オリンピック」が始まった日本で初めて

「国際物理オリンピック」は、世界の高校生が物理学の問題に挑戦する大会です。若い人に物理学に興味を持ってもらうため、1967年に始まりました。

今年は日本で初めて大会を開いています。10日の開会式には、80ぐらいの国と地域から集まった高校生の選手など500人が出席しました。

式では、2008年に物理学でノーベル賞をもらった小林 誠さんが「物理学の勉強は将来の大切な財産になります。頑張ってください」と言いました。選手たちの紹介では、会場の人々がウクライナの高校生に特に大きな拍手をしていました。

選手たちは実験などの難しい問題に挑戦します。成績がいい選手は金、銀、銅のメダルをもらいます。大会は17日までです。

扫码获取音频



总结区